

## 新青丸共同利用研究航海報告書

\* 航海番号

KS-25-7次研究航海

\* 航海名称

(和文) 夏季日本海のメソスケールブルームが生物ポンプに与える影響解明

(英文) Impact of meso-scale summer phytoplankton bloom on the biological pump in the Sea of Japan

\* 観測海域

(和文) 日本海佐渡沖

(英文) Off Sado, the Sea of Japan

\* 航海期間

令和7年7月18日（金）～令和7年7月28日（月）

\* 出港日時・場所

7月18日14時函館港

\* 入港日時・場所

7月28日11時新潟港

\* 寄港期間・場所

なし

\* 研究課題

夏季日本海のメソスケールブルームが生物ポンプに与える影響解明

\* 主席研究員（氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@）

児玉 武稔・東京大学学院農学生命科学研究科・准教授・takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

\* 研究内容、主調査者（e-mail アドレス）、観測項目

1. 現場海域の物理・化学・生物環境測定

児玉武稔（takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp）、矢部いつか（iyab001@kaiyodai.ac.jp）

VMP、CTD 及び採水により、水温、塩分、乱流強度、クロロフィル *a* 濃度、植物ランク トン群集組成、栄養塩濃度、基礎生産速度を測定した。

2. 動物プランクトン現存量・生理的特性の測定

児玉武稔（takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp）

NORPAC ネット、飼育ネット、鉛直曳き多層ネットにより動物プランクトンの現存量を測定し、一部の個体は、食性解析、生理活性解析に利用した。

3. マイクロネクトン現存量

児玉武稔（takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp）

MOHT により、マイクロネクトンを採集し、その現存量を測定した。一部は、遺伝子発現解析に利用した。

4. 沈降粒子量の測定

児玉武稔（takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp）

セジメントトラップにより沈降粒子を捕集し、その量を測定した。

\* 乗船研究者氏名・所属・職名

児玉 武稔・東京大学大学院農学生命科学研究科・准教授  
矢部 いつか・東京海洋大学・学振特別研究員  
和川 拓 水産研究・教育機構 水産資源研究所・主任研究員  
伊藤 大樹 水産研究・教育機構 水産資源研究所・研究員  
木下 滋晴 東京大学大学院農学生命科学研究科・教授  
今浦 由就 東京大学大学院農学生命科学研究科・特任研究員  
下仲 雄大 東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院生  
金 亦錢 東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院生  
田中 雄大 長崎大学大学院総合生産科学研究科・准教授  
佐々木 慎太郎 東京大学 農学部・学部生  
高橋 聖 東京大学 農学部・学部生  
田波 茂樹 東京大学 農学部・学部生  
名塚 誠也 東京大学 農学部・学部生  
遠藤 愛子 長崎大学 水産学部・学部生

\* 航跡・測点図

